

取扱説明書

苗箱施肥ホッパー


SHK2000



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

苗箱施肥ホッパーSHK2000 を お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は、『苗箱施肥ホッパーSHK2000』の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合、速やかに当社にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・JAにご相談ください。
-  印付きの下記マークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性がある物を示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。ご使用前に必ずお読みください

目 次

はじめに

1. 安全に作業をするために 3～6
2. 安全銘板の貼り付け位置 7
3. 本製品の使用目的について 7
4. 各部の名称 8
5. 仕様 8
6. 組立要領 9～10
7. 運転 10～12
8. 点検及び保管上の注意 12
9. 配線図 13

1.安全に作業をするために

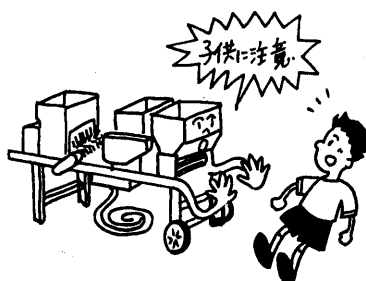
ここに記載されている注意項目を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

▲ 警告 子供を近づけない

子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲ 警告 電気部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして、火災事故をおこすおそれがあります。



▲ 警告 2人以上で作業するときは、 お互いに合図しながら機械を始動する

【守らないと】

思わぬ事故になることがあります。

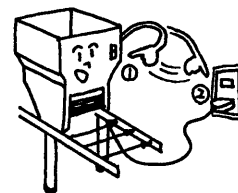


▲ 警告 点検・整備時には必ず電源を「OFF」 にし、差込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし、差込みプラグを抜いてから行ってください。

【守らないと】

思わぬ事故をおこします。



▲ 注意 使用前に取扱説明書を必ず読む

使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。

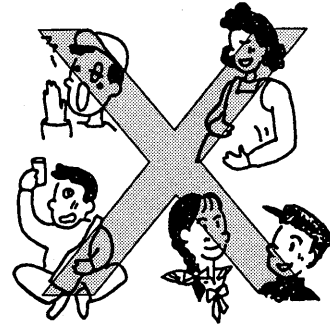
【守らないと】

傷害事故や機械の破損をひきおこします。



▲ 注意 こんなときは作業しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 18才未満の人。

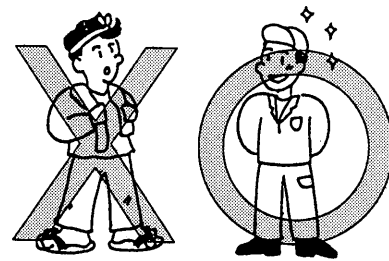


▲ 注意 作業に適した服装をする

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。
作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたりするおそれがあります。



▲ 注意 点検・整備をおこなう

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。

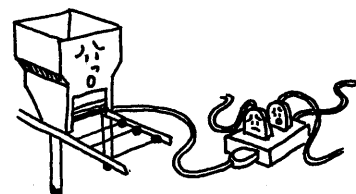


▲ 注意 電源は交流100V専用コンセントに接続する

また、タコ足配線はおやめください。

【守らないと】

火災事故の原因となります。



▲ 注意

作業中、停電した場合は、必ず電源スイッチをきる

【守らないと】

通電時、急にまわりだし、思わぬ傷害事故を起こします。

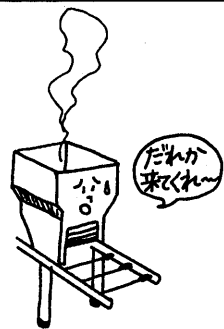


▲ 注意

作業を中断・終了した場合は、必ず電源スイッチを切る

【守らないと】

ショートして、火災の原因になることがあります。



▲ 注意

カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取り付けてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲ 注意

機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

傷害事故や、機械の破損をまねくおそれがあります。



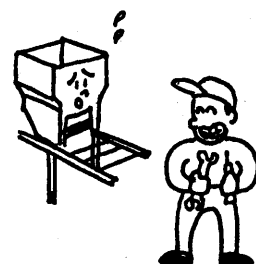
▲ 注意

機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けしないでください。改造をしないでください。

【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



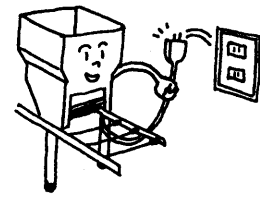
▲ 注意

後始末を忘れずに

長時間使用しないときは、差込みプラグをコンセントから抜いてください。

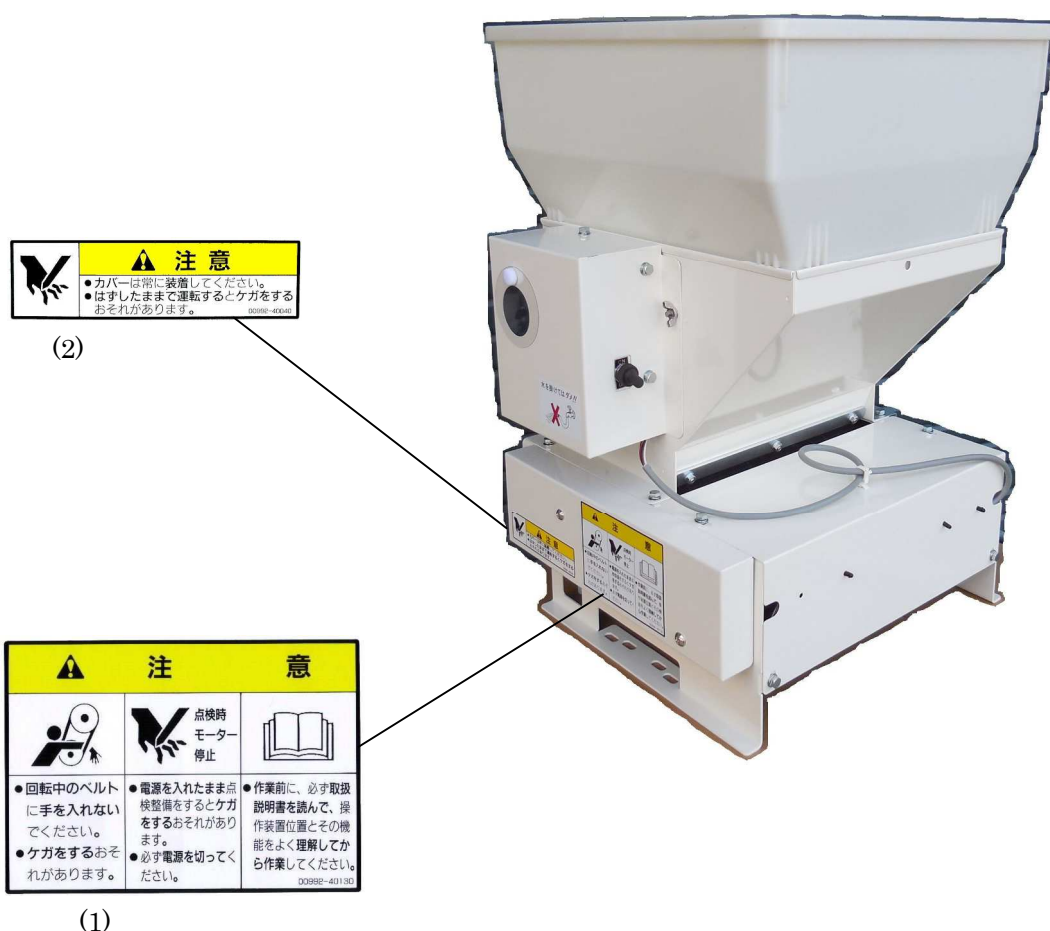
【守らないと】

火災事故や感電事故のおそれがあります。



2. 安全銘板の貼り付け位置

安全に作業をしていただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。
安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しい物に貼り直してください。



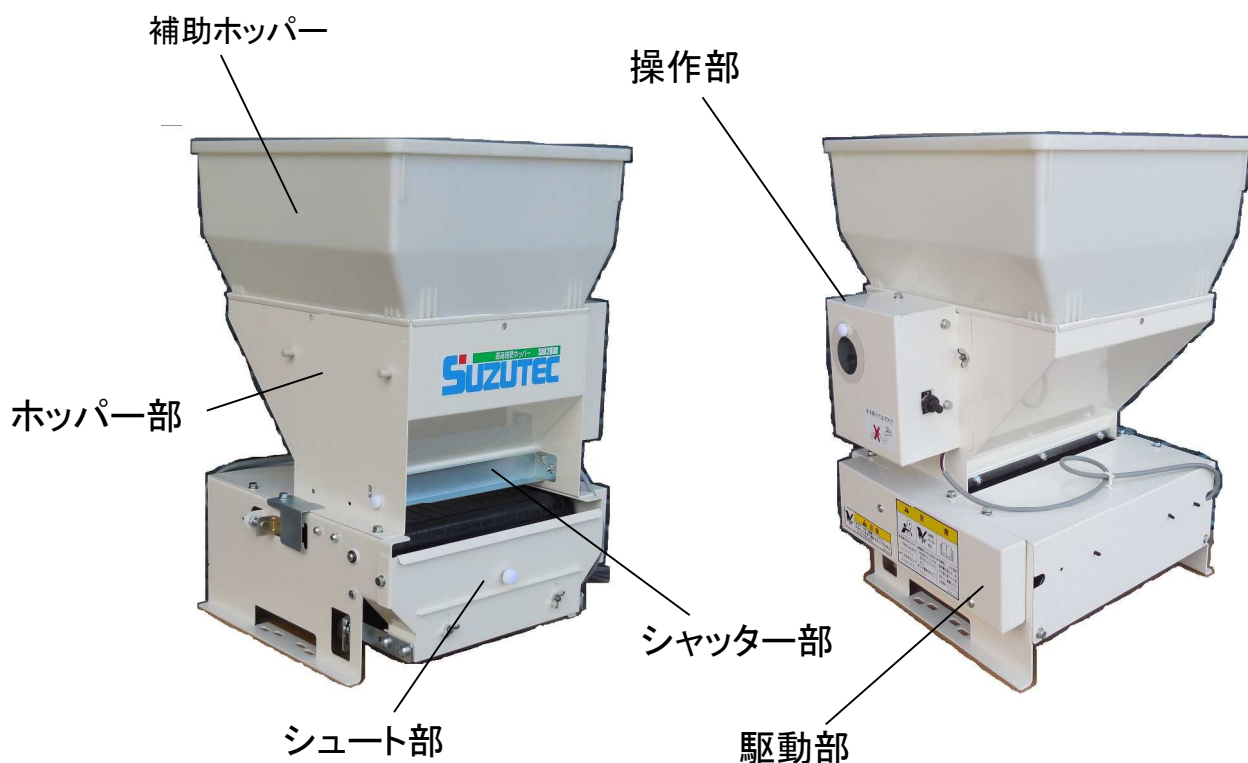
紛失または破損された場合には、当社へ下記の表を参考にご注文ください。

No	部品番号	部品名称
(1)	00992-40130	注意ラベル CL-10
(2)	00992-40040	注意ラベル CL-3

3. 製品の使用目的について

本製品は、育苗箱への施肥の作業機としてご使用ください。
目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

4. 各部の名称



5. 仕様

型	式	SHK2000
機体寸法	全長	400mm ; 460mm(順繰出し仕様時)
	全幅	440mm
	全高	440mm
重	量	15kg
入	力電	源
施	肥部	動力
ホ	ッパ	ー
容	量	
施	肥	量
施	肥	量の調節
能		力
適	用	肥料

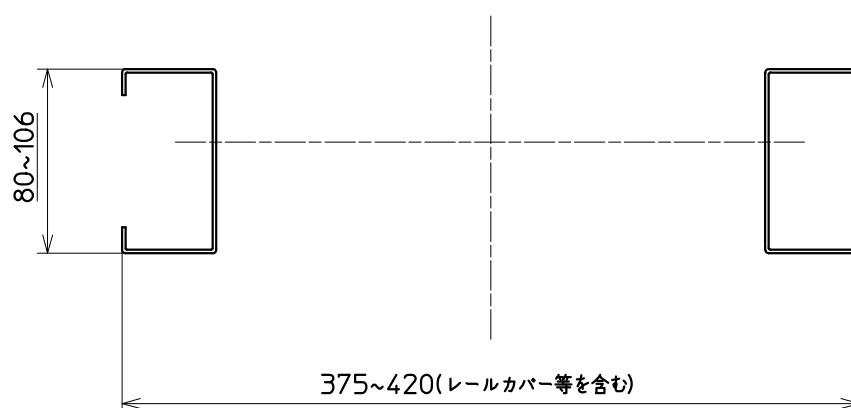
6. 組立要領

6-1 本機の組付

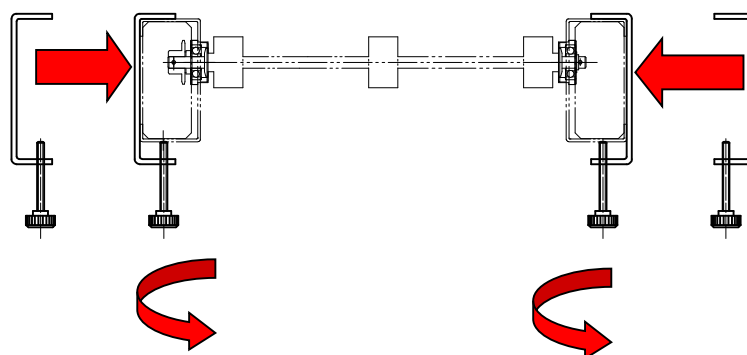
本機の入るスペース（500mm）を確認します。
肥料操出側が苗箱搬送方向に対し、手前側になるよう位置決めします。
本機は、次の2通りがありますので、状況に応じて組付けてください。

I クランプによる組付

クランプは、下図の寸法範囲内のレールに対応しております。



- ① 本体を播種機、播種プラントのレール上(中心)に位置決めしてください。
- ② クランプを下図の様にセットし、調節ボルトにてしっかりと固定します。
(締めすぎに注意してください。)
- ③ 本体にガタツキが無く、固定されているか確認してください。
- ④ 取り外す場合は、調節ボルトを緩めてクランプを取り外してください。



II 六角ボルトによる組付

- ・ 本機に長穴が開いています。本機が播種機上にセンター位置になるよう取付穴を加工し、六角ボルトにて組付けてください。

6-2 電源コードの接続

本機はインバーターにより制御しております。
運転中においてインバーターへの100V入電が常時可能なコンセントへ差し込んでください。
播種機から電源を取る場合は、センサによりインバーターへの入電が遮断されないように配線してください。

7. 運転

7-1 運転

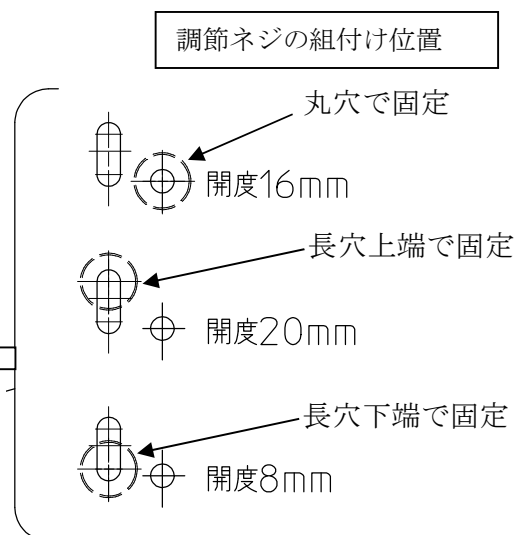
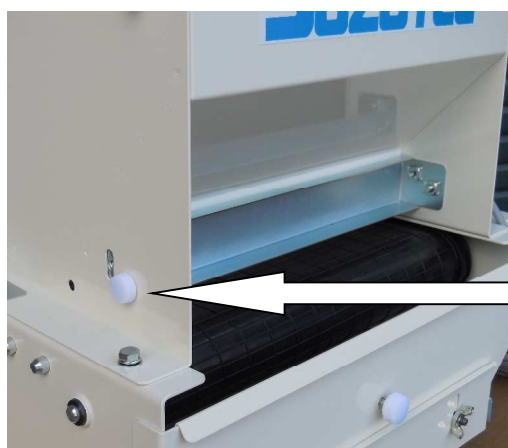
注)電源電圧は AC100V±5V を安定して供給してください。

適切な電源電圧でないと、故障や動作不良の原因となります。

施肥ホッパーの運転、停止は操作ボックス側面にあるスイッチで行います。

7-2 シャッターの調節

播種機能力によりシャッターの開度調節(8mm,16mm,20mm)が必要となります。
施肥量ラベルを確認のうえ、シャッター開度を設定してください。
左右の調節ネジ(1か所ずつ)にて固定してください。



7-3 シュートの調節

育苗箱外への飛散を減少する事が目的です。
チョウナットを緩め育苗箱との隙間が5~10mm程度になる様合わせてください。

※出荷時は38mmの箱にて10mmの隙間

『注意』

育苗箱の混在や必要以上の下げ過ぎは、育苗箱の引っ掛かりが発生するおそれがあります。



7-4 V ゴムの調節

育苗箱の縁に乗った肥料を落とす事が目的です。
両サイドのチョウボルトを緩め、育苗箱の縁に軽く触れる程度に合わせます。

7-5 反射板の傾斜調節

育苗箱の先端、後端への散布過不足を解消する事が目的です。
調節ボルトにより、反射板の傾斜が調節出来ます。
散布状態により調節してください。

7-6 施肥量の調節

作業する際は、使用説明書を熟読の上ご使用ください。

- (1) 肥料の種類、大小により、供給量が異なりますので必ず実測してください。
- (2) 操作部のつまみを回して調節します。デジタル表示を目安に無段階に調整出来ます。
- (3) 処理能力によりシャッターの開度（8、16、20）調節が必要となります。
- (4) 施肥量（1箱当たり）

能力	周波数(Hz)	20	30	20	30	40	50	60	70	80	90	100	90	100
	シャッター開度	8		16								20		
700	施肥量g/箱	320	490	640	980	1290	1600							
800		280	430	560	860	1130	1400	1670						
900			380	500	760	1000	1240	1480	1700					
1000			340	450	690	900	1120	1330	1530					
1100			310	410	620	820	1020	1210	1390	1580				
1200					370	570	750	930	1110	1280	1450	1620		
1400					320	490	640	800	950	1090	1240	1390	1520	
1500					300	460	600	740	890	1020	1160	1300	1420	1620
1600					280	430	560	700	830	960	1080	1220	1330	1520
1800					250	380	500	620	740	850	960	1080	1180	1350
2000				220	340	450	560	660	760	870	970	1070	1210	1330

注意)

- ◎ 施肥量は、苗箱まかせ® N400-100 NK301-100 散布時での目安となります。
- ◎ 肥料を散布するコンベアベルトの速度(周波数)になるまでには数秒かかる様に設定してあります。
※運転直後の1箱目は、施肥量が少なくなる場合がありますので注意してください。
- ◎ 土の混入、又は水に濡れた肥料は絶対にホッパーへ入れないでください。故障の原因となります。

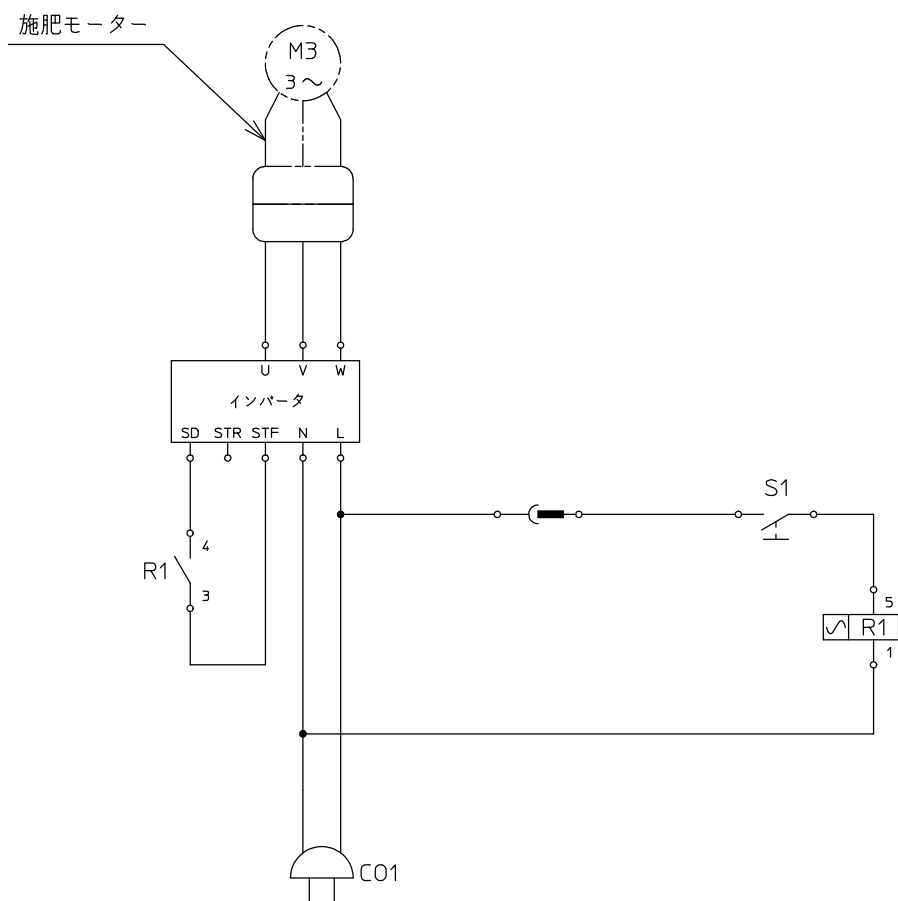
7-7 肥料の回収及び処置

- (1) 残留肥料の回収は、本機の下にトレー、またはコンテナなどを置きコンベアベルトを作動させて排出・回収してください。
- (2) 苗箱に入らず飛散した肥料は、回収し肥料の取扱方法に従い処置してください。
 - ◎ 肥料の回収は、施肥ホッパー周辺（コンベアー）の泥、土が混入しない様に、必ず清掃してから実施してください。

8. 点検・整備及び保管上の注意

- (1) 作業終了後、洗浄する場合は、電源コードをコンセントから外し、モーター及びスイッチへの放水はしないように注意してください。
- (2) よく乾かした後、チェーン（回転部）へ必ず給油してください。
- (3) 本機の格納は、コンベアベルト、ゴム・プラスチック製品を使用していますので直射日光をさけて、風通しの良い所へ格納してください。
- (4) 残留肥料
施肥作業終了後は、ホッパー内の肥料を全て回収して下さい。
 - ◎ 回収した肥料、又は、未使用のものは、肥料に記載されている「保管上の注意」をよく読んで必ず守って下さい。

9. 配線図



		R1	施肥リレー
		C01	電源プラグ
		M1	施肥モーター
		S1	メインスイッチ

実り豊かな明日をひらく

株式会社 **スズテック**

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地44-3
代 表/TEL.028(664)1111 FAX.028(662)5592
URL <http://www.suzutec.co.jp>